

ありおか通信



令和6年7月23日

校長 森本 一登

気象庁は7月21日(日)、近畿地方で梅雨明けしたとみられるとの発表をしました。昨年より5日遅い発表でした。いよいよ夏本番を迎えることになります。保護者のみなさまも体調には十分気をつけて毎日をお過ごしください。

さて、7月19日(金)には1学期終業式をズームにて行いました。ここ最近の暑さから、体育館での実施を諦めての対応でした。私からは1学期の振り返りと「あいさつをしましょう」「お家のお手伝いをしましょう」「早寝・早起き・朝ごはんをしましょう」の3点について話をしました。ご家庭におかれましても、お話頂ければ幸いです。

子どもたちには、この夏休み期間を利用して、心身ともにリフレッシュし、普段は時間がなくてなかなかできない体験や、興味のあることに取り組んでほしいと思います。



～第3回 有っ子土曜学習会～



7月20日(土)の午前中に「ペットボトルロケットに挑戦!」と題して、尼崎稲園高等学校理科部のお兄さんお姉さんにお手伝いをいただき、子どもたちがペットボトルロケットを制作しました。子どもたちは、ロケットにシールを貼ったり、ペンでイラストをかいたりして、オリジナルのロケットを作りました。完成後は、グラウンドで大空に向けてみんなで飛ばしました。思っていたよりも遠くに飛んでいったので、びっくりしました。

～6年生 着衣泳～

7月16日(月)の午前中に、水難学会から5名の講師の方にお越しいただき、自分の命を守るための「着衣泳」を教えていただきました。毎年、夏休みの頃になると、水に関する事故が多く起こっています。水泳中に事故に遭うことはあまりなく、もっぱら川や海などでのレジャーや釣りで事故が発生することが多くあります。当然ですがそういう場合は服を着ています。そのための「着衣泳」を学ぶ必要があります。「着衣泳」とは、泳ぐのではなく、救助が来るまで「あわてず、浮いて、待つ」ためのものです。今回の着衣泳は「自分の命は自分で守る」ための学習でした。



～図書館開放始まる～

前回の「ありおか通信第7号」でお知らせした「図書館開放」が7月22日(月)から始まりました。子どもたちは自分の読みたい本を選び、その場で読んだり、貸し出しを行いました。初日は27名の子どもたちが来てくれました。夏休み期間全10日間開放します。積極的に利用していただければ幸いです。



1学期が無事に終了いたしました。これも日頃から、保護者のみなさまのご支援・ご協力があったることと感謝いたしております。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。